

平成27年度 岡山県在宅医療推進協議会開催に係る事前調査及び会議内容のまとめ

(事務局での取りまとめ)

	1 他団体に望む取組	2 望まれる他団体との協働	3 他団体に望む協力	4 課題	5 課題解決のための自団体の取組(案)	6 課題解決のための他団体の取組(案)	7 新規・重点取組
岡山県			・医療介護サービスの継続的・一体的な推進 →在宅医療提供体制の充実、個別疾患の質向上、普及啓発、市町村支援	・在宅医療提供・医療介護連携の体制整備 ・在宅医療介護を担う人材の育成 ・在宅医療介護の普及啓発	・各種直営・委託事業	・各種補助事業	・ACPの推進 ・死因究明等推進協議会での課題の抽出
岡山県医師会	・規範的統合へ向けた各団体の協調	・入院とは異なる在宅医療の理解浸透 →必要に応じて歯科も介入	・必要分析に基づく在宅医療の在り方の検討	・24h365D在宅医療提供体制の構築 ・日常生活圏域における在宅医療の提供	・主治医・副主治医制システムのモデル案 ・県医師会認定かかりつけ医制度 ・地域包括コーディネーターの専任配置 ・行政・地区医師会担当者合同会議 ・地域医療構想・包括ケア研究会	・多職種協働「在宅医療推進チーム」設置	・地域包括ケア部会を中心に「オール岡山」
岡山県病院協会							
岡山県歯科医師会	・「歯科」の研修会の開催 →「歯科」の役割への理解	・退院時カンファレンスからの連携 →必要に応じて歯科も介入	・研修会の開催 →糖尿病、がん、認知症、終末期医療、栄養、薬、介護保険等	・お互いの理解 →糖尿病、周術期管理、誤嚥性肺炎、在宅医療等	・専門用語の解説集の作成 →他職種の業務・役割の知識→情報共有	・困ったこと、分からないことは投げかけ ・研修会・口腔ケア実習等へ講師派遣の声かけ	・訪問歯科診療の疾患別マニュアル作成 ・グループホームの歯科実態調査
岡山県薬剤師会	・かかりつけ医との連携			・保険薬局で訪問薬剤管理指導を実施しているところ約3割(H27) 現状把握も課題 ・訪問薬剤管理指導の普及啓発			・「医療用麻薬検索システム」構築事業 ・訪問薬剤指導等の技術向上研修 ・医療材料・衛生材料マニュアル作成事業 ・在宅訪問薬剤管理指導の実態調査 ・県民啓発シンポジウム
岡山県看護協会	・退院等に関するシートの県下統一	・研修会の相互乗り入れやポイント制の導入 ・夜間セデーション等、がん末期在宅死の環境 ・在宅看取りの教育的体験の場の確保	・団体の窓口係の明確化 →連携	・市民と医療を考えるため、情報共有と理解促進 ・認知症ケアの専門知識・技術の習得 ・保健師の課題別研修、系統的現任教育	・出前講座、まちの保健室等で市民と医療を考える ・中堅看護職員施設間交流研修→ネットワーク化 ・医療計画への看護の視点から意見	・訪問診療の活発化 ・医師・看護職等の地域偏在の是正	・ナースセンターの強化による人材確保策 ・新卒訪問看護師養成プログラムの検討・準備
岡山県訪問看護ステーション連絡協議会	・ケアマネ研修による在宅医療の推進 ・在宅に関心の薄い医療従事者の理解促進 ・病院医師と在宅医師の連携	・訪看や通所をワールドカフェで住民紹介 ・病院と居宅サービスの連携に向けた取組 ・情報共有ツールの一本化 ・研修会等催事の情報共有→参加・交流	・退院時にかかりつけ医の選択しやすい仕組み	・人材確保及び定着 ・在宅をリードする高質の看護師等の育成 ・円滑な連携 ・空白地でのサービス提供 ・住民への普及啓発	・訪問看護師の研修の充実・ラダー作成 ・顔の見える関係とICTを活用した情報共有 ・訪看ST開設やサテライト設置への支援 ・広告掲載・催事出展・地域への広報活動	・住民と医療介護職種の情報交換・情報提供の場 ・かかりつけ医の県内マップ	・新設ST・新管理者への支援 ・訪看新任者への支援 ・訪看確保対策(体験研修、職場体験) ・課題抽出・検討(人材確保・定着・ラダー) ・訪看ST開設支援 ・地域参加による連携体制づくり、普及啓発 ・訪看ST状況の情報提供(体制・空き状況等)
岡山県栄養士会	・専門職の業務内容の合同研修会 →顔を合わせて話し合い	・対象者に適した献立・食事の作り方の提案 ・ヘルパーへの調理研修	・栄養管理に問題がある場合の相談	・在宅訪問栄養指導料の算定件数が伸びない →医師の指示+医療機関勤務の管理栄養士	・栄養ケアステーションの紹介 →3回まで持ち出し、その後は非常勤契約 ・在宅栄養管理が出来る管理栄養士として役立つ		・栄養ケアステーション管理栄養士とかかりつけ医との契約増 ・ワールドカフェ等への積極参加
岡山県介護支援専門員協会		・患者・家族への啓蒙活動での協働					・医療介護連携でのCMの役割の再認識 ・医療介護連携間での統一した情報共有
岡山県医療ソーシャルワーカー協会		・住民を対象とした講演会での普及啓発 ・多職種・多機関協働の人材育成研修会		・在宅医療の現状と課題の研修 (地域毎の課題の理解、取組も必要) ・地域住民への普及啓発活動	・住民への在宅療養、在宅看取りの講演会		
岡山県介護福祉士会	・本人・家族への知識普及 →治療・医療の知識は千差万別 ・迷った時の相談所機能	・医療職の生活支援(介護福祉)への理解	・介護福祉士の医療知識の不足 →現在の医療職講師の研修を継続	・介護職・医療職の人材確保	・社会的地位の向上、政策提言 ・仕事の魅力のアピール →出前講座、介護フェア		・指導者のフォローアップ研修 ・介護技術リーダー研修 →介護未経験スタッフへの指導
岡山県老人福祉施設協議会		・全体ケア会議の運営・推進(別紙参照) ・認知症高齢者への支援体制の確立 →地域ぐるみ	・地域包括ケア・介護保険事業連携窓口の設置 →特に複数の医師が関わる場合	・退院時に不安がない環境の整備 ・退院前(時)カンファレンスの開催 →なるべく多くの関係者を呼ぶ	・15分カンファレンス(高効率の濃い会議) →協議内容、課題の事前提示		・おかもやま介護の日2015(おかもやま未来ホール) ・社福の公益的取組の準備 →H29.4~社会福祉充実計画の作成
岡山県老人保健施設協会	・人材、患者人数の今後の推移 →医療職の年齢から見た動向 要介護認定者、認知症患者の絶対値	・地域医療構想調整会議への参加 ・在宅医療拠点事業への参加	・在宅医療を担う関連団体との協議 →老健施設の在宅支援 ・中国地区老健大会への関係団体の招致		・大都市圏からの移住の推進 →患者利用者の支援、専門職の確保 ・在宅急変時・看取りの法律・制度・システムの検討		
岡山県障害福祉施設等協議会				・65歳問題~障害福祉サービスよりも介護保険優先 (サービスの継続が難しい)			